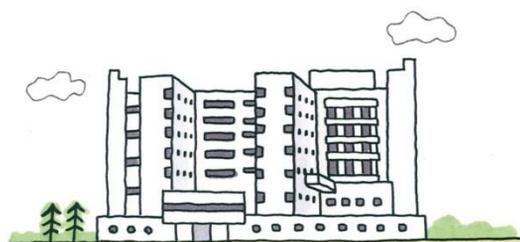


患者さんパンフレット

四国がんセンター
骨軟部腫瘍・整形外科



抗がん剤治療
イホマイド+ドキシソルビシン
併用療法を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2017年3月2日 作成
2023年10月17日 改定

私たち医療スタッフは

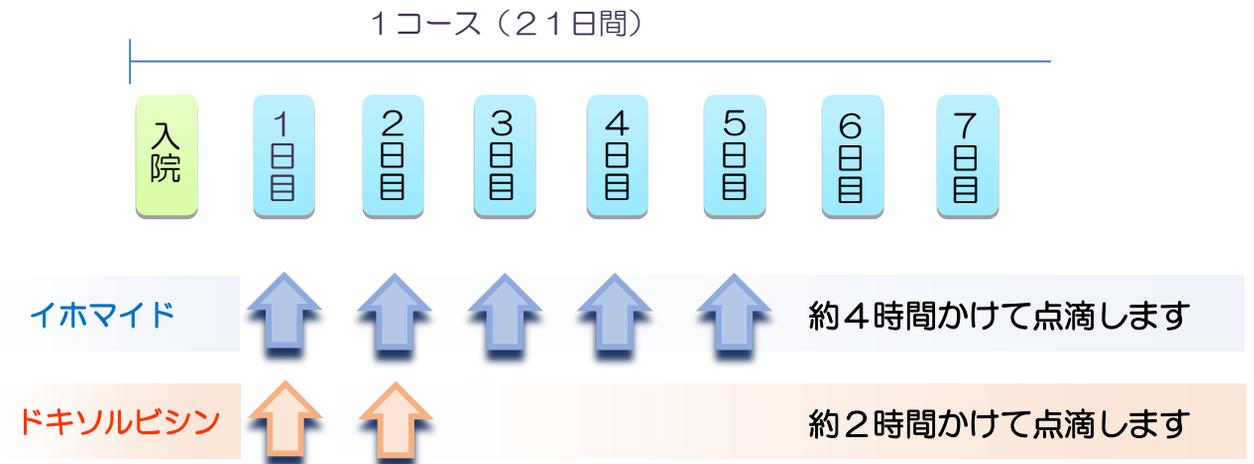
- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態での治療が受けられるようお手伝いいたします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



イホマイド+ドキシソルピシン併用療法のスケジュール

点滴投与のスケジュール



この他に、利尿剤や吐き気止めの注射薬や内服薬があります

安全に点滴を行うために

- 正しく安全に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
- 点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
- 歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき
- * 点滴を開始してから、気分が悪くなったり、呼吸がしづらくなるような症状が出たとき



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として**患者さんご自身の目標**をかかげ、よりよい状態で退院を迎えられるよう**医療スタッフの目標**もあげています

入院は14日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください 印鑑は必要ありません ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<p><治療の準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師より治療スケジュール、副作用、日常生活の注意点について説明をします <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください

身長： cm 体重： kg

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



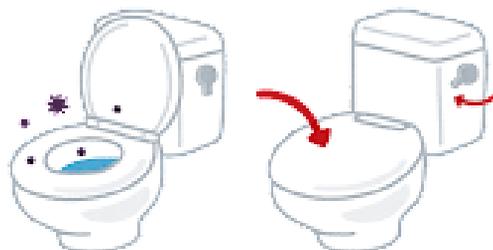
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- 男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう。2度拭き取ると良いでしょう。

- トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

尿の量を測る方法や注意点について

●コップを使って尿の量を測る場合

①ビニール袋を掛けたサニタリーケースの中に
逆さまに入ったコップ（メモリつき）が、
入っています

②コップを取り出し、排尿しましょう

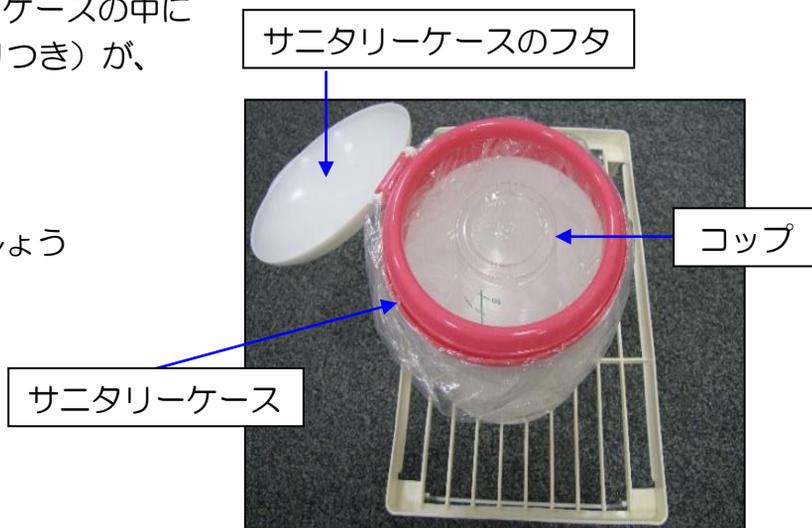
③排尿後、尿の量を測り、
尿はトイレに流しましょう

④排尿後のコップはトイレに設置された
シャワーで水洗いし、サニタリーケースへ
逆さまに入れて（戻し）、必ずフタをしてください

⑤手を洗いましょう

⑥お渡ししているパンフレットに尿の量を書きましょう

- * コップに付いた尿中の抗がん剤が、床や壁に付着するのを防ぎます
- * コップとビニール袋は1日1回看護師が交換します



●ユーリパンを使って尿の量を測る場合

①水色のビニール袋の中に、
ユーリパンとピンクのシート（吸水シート）
が入っています

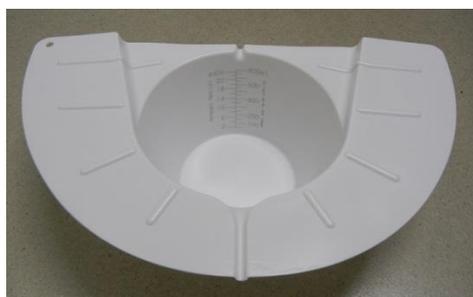


中の様子が見えるように、透明の
ビニール袋に入っているユーリパン

②ユーリパンを便器に設置し、排尿しましょう

③排尿後、尿の量を測り、尿はトイレに流しましょう

④排尿後のユーリパンはトイレに設置されたシャワーで水洗いし、水色のビニール袋に
入れて（戻し）、必ず封をしてください



ユーリパン



⑤手を洗いましょう

⑥お渡ししているパンフレットに尿の量を書きましょう

- *ユーリパンに付いた尿中の抗がん剤が、床や壁に付着するのを防ぎます
- *水色のビニール袋とピンクシートは1日1回看護師が交換します

治療1日目 月 日



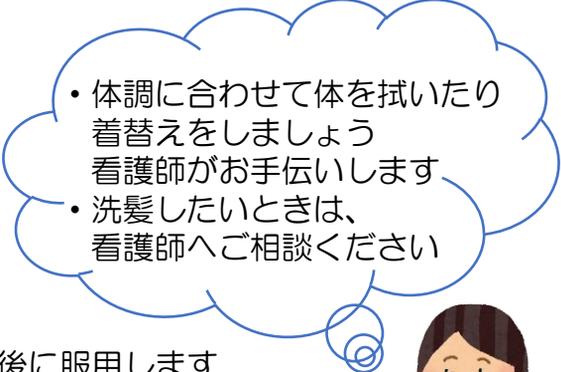
今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00	起床、検温
7:30	朝食
9:00	点滴を始めます
10:00	検温 *吐き気止めの薬を点滴開始1時間後に服用します
12:00	昼食
14:00	検温 *イホマイド開始30分後、ドキシソルピシン開始30分後に 検温があります
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

- 
- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
 - 洗髪したいときは、
看護師へご相談ください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



治療2日目 月 日



今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食
吐き気止めのお薬（アプレピタント）を
朝食後に服用します

10:00 検温

12:00 昼食

14:00 検温
*イホマイド開始15分後、ドキソルビシン開始15分後に
検温があります

18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯

- 体調に合わせて体を拭いたり
着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
- 洗髪したいときは
看護師へご相談ください



副作用と対策について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

脱毛について

「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



治療3日目 月 日



今日の日目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食
吐き気止めのお薬（アプレピタント）を
朝食後に服用します

10:00 検温

12:00 昼食

14:00 検温
*イホマイド開始15分後に検温があります

18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯

- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
- 洗髪したいときは
看護師へご相談ください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの日目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

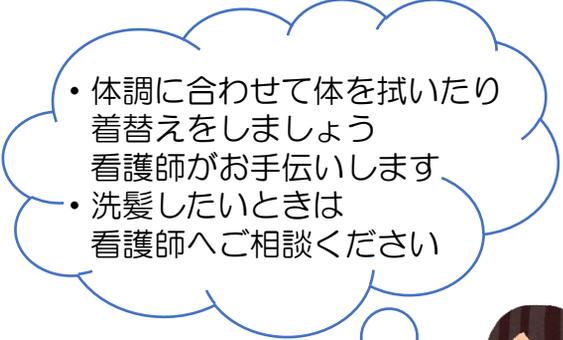




今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温
12:00	昼食
14:00	検温 *イホマイド開始15分後に検温があります
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

- 
- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
 - 洗髪したいときは
看護師へご相談ください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食

10:00 検温

12:00 昼食

14:00 検温
*イホマイド開始15分後に検温があります

18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯

- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
- 洗髪したいときは
看護師へご相談ください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温
12:00	昼食
14:00	検温
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は医療スタッフに伝えることができる
- 退院後の日常生活について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	血液検査（治療7日目）
10:00	検温
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

看護師より退院当日の流れと退院後の日常生活について説明があります



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
(状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうようなときは、

1～2食、食事は控えてみましょう

この場合も水分はできるだけとりましょう



●排泄

毎日排便があるようにしましょう

軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう

水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

外出時はマスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

運動や趣味について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●入浴

特に制限はありません



●仕事

治療中は職場の上司と相談しながら、休職、休業制度の活用手続きを行っておくとよいでしょう

復職後の重労働は、しばらく避けるようにしましょう

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なく看護師にお尋ねください



- 38.0℃以上の熱が数日続くとき
- 便秘が続き排ガスがなく、吐き気や腹痛を伴うとき
- 下痢が数日続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15
(直通番号) 089-999-1112



イホマイド+ドキシルピシン併用療法を受けられる方へ